

314

特254

809

講演速記録

廣田内閣の政略と政策

東京日々新聞社
学藝部長

阿部真之助氏講演

日本講演協會



0005047-000

特254-809

廣田内閣の政略と政策

阿部真之助・〔述〕

日本講演協會

昭和11

ABC

特254

809

講演速記録

廣田内閣の政略と政策

東京日々新聞社
學藝部長

阿部眞之助氏講演

日本講演協會

3

4

日本講演協會略規

本會へ入會するには

- ◇申込方法 申込書に職業住所姓名を明記し捺印(葉書にても可)關東地方は本部へ、關西地方京都ホテル内關西本部へ申込みの事。會費は凡て前納の事。
- ◇替助會員……特に本部にある規定による
- ◇普通會員……會費一ケ年拾圓宛(二回に分納の場合は一ケ年拾壹圓)
- ◇團體會員……拾人以上の團體申込に對しては特に會費を減額します。
- ◇「講演」パンフレット 會員には各所に於ける政治、經濟、宗教、文藝、其他凡ゆる講演速記を蒐録せるものを月三回不定期御贈呈。
- ◇亦パンフレット保存綴込表紙(堅牢美麗のクロース製)を一年毎に贈呈。
- ◇講演局(レクチュア・ビュロー) 本會の創始せる本邦唯一の組織的の機關であつて講演に關する企劃即ち講師、會場、交通其他凡て講演に關する一切の調査・立案等を取扱ひ、全国的に調査・聯絡網を張つております。
- ◇殊に講師の紹介は其の中核をなし、講演會をお開きにならうとする場合には最も適當なる講師を御紹介しております。
- ◇講演會 會員は本會主催講演會には御招待します。
- ◇速記部 講演、會談、座談會、訪問速記等の御用命には迅速、丁寧、低廉をモットーとして優秀な速記者を派遣します。
- ◇圖書部 新刊紹介取次と圖書相談部が設けてあります。
- ◇寫眞部 技術優秀且つ低廉、電話御用命次第優秀なる技師を派遣す。
- ◇特別會員 十名以上の會員を御紹介下さる會員を特別會員として優待致します。
- ◇支部設置希望者——特に御相談致します。關西支局へ御相談下さい。

速記録は正確無比
講師の連絡全國的
パンフレット配布敏速

廣田内閣の政略と政策

應政刷新を標榜する廣田内閣

東京日々新聞社
學藝部部長

阿部眞之助氏講演

するかも知れませんが、豫め御承知を願ひたいのであります。

さて廣田内閣が出来た時、大變庶政一新といふことを看板にして、國民も吾々も廣田内閣は何かなすだらう、かう皆さんも思つてをられたことだらうと思ふのであります。ところが特別議會を開いて見ると、提案されたものはあれは皆んな前内閣時代に拵へ上げたもので、豫算もそれから法律案も全部前内閣が拵へたので、あの二・二六事件がなかつたならば、前の岡田内閣の手でさるべき議案がその儘

皆様とお話する機会を得たことを私大變光榮に思ふのであります。私のお話することは新聞記者としての、詰り常識だけのお話で、ズツと突込んだ全面的のことになると、實は私は何も存じてをらないのであります。それで大凡の常識的なお話だけを申上げる位でありまして、差當つて最近の特別議會を中心として、それからお話申して見たいのであります。いろ／＼雑多な話をその中に入つて來て混雜

そつくり特別議會に出て来たといふわけで、廣田内閣の所謂政綱とか政策といふものは、今度の特別議會では何一つ出てゐなかつたといふことなんです。それで御承知の通り豫算を初め、随分盛澤山な法律案が僅か二十三四日の間に全部通つてしまつたといふことは、随分成績は良いと言へるでせう、が、言ひ換へて見ると自分の政策政綱は一つも行はれてゐない、詰り廣田内閣は庶政一新を看板にして、何も一新さるべき政策は行はなかつたといふことなんで、今度の特別議會で廣田内閣は一つも自慢する點があるならばともかく、自慢する點は一つもない、若し今度の議會で良いことが行はれたとすれば、それは前内閣の功績とすべきものでありませうが、廣田内閣の功績と見做さるべきものは何にもないといふことであります。それならば廣田内閣は何をなすかといふことは、それは次の議會に譲られてをる、ですから廣田内閣はこの次の議會こそ、自らの力働を國民に示すべき時期であつて、今はさうでないといふことが出来るのであります。それでこの特別議會の問答や應答の具合を見てをりますと、果してこの内閣が看板にする程の根本的の革新がなし得るかどうかといふことは、随

分疑しくなつて来たわけでありませう。議員達も議會において随分突込んでいろんことを質問してをりますが、廣田首相を初め答辯が曖昧で、何をしようといふ具体的のことは何も言つてゐない、これから見るとこの内閣は初めに聲明が大きかつたにも拘らず、何にもしないといふことに専念してをつたやうに見える。それは恐らく若し大いにやるといふことを言つたならば、初め内閣の出来た當時非常に大きいことを看板にしてをるので、看板倒れになることを恐れて、何にもしないといふこととを、尤も今の弱体振りでは大きなことはなし得なかつたのであります。それから追々お話ししますが、議案の審議の模様を見ても分ることでありまして、随分夥しい議案が出されましたが、皆んな骨抜きになつてしまつたのであります。庶政一新で、世の中を引くり返す程のことを、この内閣においてなされるだらうといふことは、寧ろ空想に近かいんぢやないか、かう思はれるのであります。

迫眞力を失つた舉國一致といふ言葉

それで私はこの際舉國一致といふことについて、少し振

返つて見たいのであります。これは私新聞や雑誌なんかに時々書いてをつた議論であります、舉國一致といふことは今誰でも説いて、舉國一致でしなければならぬといふことは、丁度数字の公式のやうに國民に思はれて来た。詰り一十一はイコール二と同じやうに、日本の政治は舉國一致といふことは、何も検討されることなしに、何も考慮されることなしに、舉國一致でしなければならぬといふことになつてをりますが、今度の議會の成績を見ると、この舉國一致といふことをもう一遍振返つて、検討し直す必要はないかといふことを、私秘々と痛感したのであります。何が故に舉國一致が要求されるかといふと、時が非常時なんであるといふことであります。かういふ非常時の場合は内輪喧嘩をしてをつては駄目であるから、皆んなして力を合せて一つ舉國一致で行かうといふ建前で、それだけの意味において全く御尤もで、何等異論はないだらうと思ふのであります。しかし廣田内閣は御覽の通り民政黨の支持を受けてをる。同時に政友會の支持も受けてをる、それから貴族院においても全面的に支持を受けてをる、それから今最も政治のことに強い勢力を持つてをる軍部の支持を受けて

をる、今の閣に反對と名乗つてをるのは、僅か二三十の無産黨、それが反對黨であつたばかりで、先づ吾々の考へ得る限りにおいては廣田内閣程舉國一致の内閣は近年なかつた、であるからこの内閣の弱体で何をなし得るか考へて見ると、理窟は舉國一致であるが、この舉國一致に無理がありはしないか、齋藤内閣も舉國一致であつたが何にもなし得なかつた、唯空々漢々で、齋藤さんも「仕事は何もしなかつたが、五・一五といふ忌はしい事件の起きた後の人心を緩和する役目だけはなし得た」と言へる、何も大仕事をするだけの舉國一致内閣ではなかつた、岡田内閣も舉國一致であつた、尤も岡田内閣は政友會を味方にするのが出来なかつたので、實際の意味では舉國一致でなかつたかも知れないが、看板は舉國一致であつて、或は岡田内閣はなし得たかも知りませんが、一・二六事件といふ空前の不祥事を起して自ら自滅しなければならなかつたのであります。舉國一致内閣をこの内閣でもう三度吾々は経験してをりながら、甚だ弱体で何事もなし得ないといふことは、考へ直す必要はないかと思ふのであります。私が議會においてこの内閣の様子を見てをりますと、大變氣兼ねをしてを

る。絶えず民政黨に氣兼ねしてをる、貴族院でも氣兼ねしてをる、さういふ有様が廣田さんの答辯の上でも略々分る何かことをなす場合、それが大きければ大きい程、一面また強く反對されるといふことは豫想されなければならぬ。その強く反對するものを自分の味方に引入れてことをしようと思へば、詰り強い反對者を内側に引入れるために妥協しなければならぬといふことである、であるから議案が骨抜きになつて中途半端なものになるといふことは當然の理窟であります。

兵農兩全主義はその均衡を得てゐるか

私は如何に物事が妥協的になされて来たかといふことの一つの證據として、此處に書取つて来たのでありますが、假りに農村問題であります。もう非常にお百姓が困つてをつて、お百姓を救はなければならぬといふことは舉國一致の叫びであります。同時に國防も充實されねばならぬといふことも舉國一致であります。それで軍部邊りは要求して來ます。所謂銃後の守りを易くするために、農民を大いに救済して貰はなければならぬ、所謂兵農兩全でやつて貰ひ

たいといふことが軍部の要求である、民政黨も政友會も大いに主張してをる、ところが軍費は年々激増して來る、農民を救ふ豫算も激増されなければならぬ、それがどうかといふと、これは農林省豫算と軍部豫算とを通算して、昭和八年度の農林省豫算は一億三千二百萬圓、これに對して軍部の豫算は、陸海軍を通じて八億七千二百萬圓、丁度百分率にしますと、總豫算の百に對して農林省の豫算は五分四厘、軍部の豫算は三割七分一厘、ところが昭和九年度になりますと、農林省豫算は一億二千九百萬圓、それが約七百萬圓増加したのに對して、軍部の豫算はどうなつてをるかといふと、九億四千百萬圓、一ケ年に一億近くも増加してをる、それが昭和十年になると農林省豫算はグツと減つて九千二百萬圓であります。軍部の豫算は更に躍進して十億二千二百萬圓、それから十一年度、特別議會で議決した本年度の實行豫算は、農林省が九千四百萬圓、少し増して二百萬圓増したのであります。軍部の豫算は更に三千萬圓ばかり増加して十億五千八百萬圓、百分率にしまして四割三分六厘、かういふことになるのであります。この數字の物語るところは何かといふと、兵農兩全主義が甚だ旨く行つ

てゐないといふことであります。軍部の要求は比較的良く通つてをるが、お百姓を救ふのに出される金といふものは殖えてをるのではなしに—昭和八年頃は一億台であつたものが九千萬圓台に減つてをる、却つて減つてをる、言ひ換へると農民を救ふ金の一部が軍事費に廻つてをるといふことが出来るだらうと思ふのであります。であるから、非常に口では兵農兩全とか何とかいらく／＼なことが言はれてをるが、實際の場合になるとこれが良く行はれてゐないといふことが能く分るだらうと思ふのであります。

問題となつた退職金積立法案

それで最近この議會において一番問題になつたのは何かといふと退職金問題、これはお百姓の問題ではなしに主に都會の労働者の問題であります、これはこの内閣が盛るといふよりは、岡田内閣の盛つた唯一の社會的立法だ、かういはれる非常な重要案であつたのであります。この退職積立法案といふものはどういふ風な結果になつたかといふと、全く骨抜きにされてしまつて、先づ無いよりは有つた方が幾分宜いといふやうな程度の修正を受けてしまつた

であるから最近の各新聞を見ると、次の議會においてこの内閣はあらゆる社會立法、小作法をやるとか、或は商店法をやるとかといふことを非常に宣傳してをりますがこの退職金積立法案たつた一つですらも惨々な修正を免れなかつたといふ情勢から判断しますと、果してこれがどういふ風になるか、この退職金積立法案がどうなつたかといふと、政府原案によりますと、三十人以上の職工を使つてをる工場、鑛山、または法律で、或は勅令で決めた使用人を使つてをるものに、その人の給料の百分の二だけを差引いて積立て置く、假りに一日一圓取つてをる人であれば毎日二錢づゝ積立て九十八錢づゝ渡す、五十圓の月給を取つてをる人であれば一圓引いて四十九圓渡す、それと同時に資本家側も同額だけを自分の懐ろから出して積立て、その積立金はその労働者の名前で郵便貯金なり、銀行貯金にして置いて、その人が退職する場合に慰勞金として支出する。かういふ案であります。ところがこの資本家側の出す百分の二といふのが原案では百分の二以上といふことでありましたが、その以上がいかにといふことで、以上が削除されたのであります。それから今一つ、資本家が期末において五分以上

の利益を得た場合、それから個人経営の工場ならば六割を差引いて、なほ五千圓以上の金が残つてをる場合には、その期間中の職工の全賃銀の百分の三だけを別に積立て置くといふ案であります。これがまた非常に問題になりましてこの利益の條項だけを削り取られたといふ無様な有様であります。それでどういふ點が非常な反對を受けたかといふと、これは實は昨年の議會に岡田内閣によつて提出されて資本家の大反對を受けて握潰された案であります。それでこの議案の意嚮を参酌して見ると比較的温和な案である、だから政府はこの程度のもならばさうく修正を受けることはあるまい。確かに通過するであらう、かう考へた、資本家側も一・二六事件が少し恐しいからして、この程度の社會的立法ならば我慢して置かう、いろく無理な修正をやれば自分達の雲行きが險悪になるといふやうなことで始めて資本家側も餘程護歩する氣配が見えたのであります。それで議會を開いて見ると衆議院もなか／＼人氣が良い、世間の人氣も良い、齋藤隆夫君などの演説もなか／＼人氣が良い、これは尻込みすることはない、といふので全産聯などが奮起して、この案を骨抜きにしようといふことにな

つて來たのであります。この全産聯の議論を聞きますとどういふことを言つてをるかといふと、かういふ法律を拵へること自体が原則的に宜しくない、といふのが全産聯の建前であります。それはどういふことかといふと、日本では從來資本家と労働者の間は温情主義といふものが良く行はれてをる、だから退職する場合は退職金をやる、或は退職した後の世話もしてやる、ところが法律で権利義務の關係に置直して見るといふことは、使つてをる人と使はれてをる人が権利義務の關係になると、今までの温かい關係が失はれてしまふ、折角今まで皆く行つてをつた關係が冷やかになつて、却つて労働争議が勃發するのではないかといふことが根本の反對理由であつた。

臨時工の問題

しかし政府においても、私共もさうなんです、温情關係ばかりに委して置けない事實が實際にある、資本家が一入残らず、必らずしも温情を持つてをると保證出来るものではない、使はれてをる間は宜いが、要らなくなつて追ひ出されてもしようがない、温情に縋つてをるのであるから

温情のないものには仕方がない、ですから最低限度の保證といふことは労働者のために、無情な資本家に對してどうしても必要ではないかと思はれるのであります。だが、資本家側は温情主義一點張りて反對してをる、のみならず實際の事情資本家必らずしも温情でないといふことが、最近事實として現はれて來てをる、例へば軍事關係で、一樣に軍事關係の工場は繁昌してをる、さういふ所の職工は却々就職率も良い、だから最近になつて日本における失業者の數は減つてをるといふわけなんです、實際の賃銀はこの需要があるに拘らず増してゐない、どういふわけで増してゐないかといふと、成るべく資本家若くば工場主は常備にすることを好まない、臨時工といふ名前で傭入れる、失業してをる人は臨時工であらうと、常備であらうと職がなく困つてをるのであるから、賃銀や條件が少々悪くても我慢してこれに應ずる、ところが軍需工業であるから何時軍部方面から注文がなくなるか知れない、さうするとそれらの工場は忽ち暇になる、さういふ時に職工を整理しようと思ふと面倒な労働争議が生ずる虞れがあるが、臨時工にして置けば要らない時は何時でも整理が出来る、その時の退

職金なんか慰勞金でなしにホンの涙金を出すだけで済む大阪の或る工場では二割の常備工に對して八割の臨時工を持つ工場もあるといふやうなわけで、資本家もなか／＼鹽ツパイといふことが分つて來た。話が横道に飛んで行きませんが、今言つたやうなわけで日本の品物が非常に安くて、世界中何所へ行つても他國の品物を追つ拂つてしまつて日本品の品物が這入つて來る、他國の品物より日本の品物が遙かに安いといふことの原因の一つは、爲替がいゝといふことも原因してをるが、今一つは職工の賃銀が思つた程上らない、物價が上つてをるのであるから上らなければならぬのが、臨時工といふやうなことで上らない、諸物價に比較して見ますと寧ろ下つてをるといふ状態にあるんです。恐らく百分率にして見ますと、數年前から較べて賃銀は四分かさそこらにあつて、物價騰貴が遙かにその上になつてをるといふやうなわけで、實はこの賃銀といふものは實質的には下つてをるやうな形であります。詰り言ひますと、今の工場が非常に繁昌してをるのは、職工が大變安い賃銀で辛棒して呉れるからで、日本の品物が方々に出るといふことは、資本家に取つては有難いわけですが、労働者に取つて

はお氣の毒なわけでありませう。であるからこの位の社會立法は資本家としては御辛棒になる方が、先づ私共第三者の側から見ても當然なことだらうと思ふのであります。

國家は中小工業を保護せよ

それで事實また大きな工場や大きな鑛山あたりに行きますと、無論今度通つたより以上の退職金は出してをりますですから本當をいふと大きな工場や鑛山なんかは問題になつてゐない、問題は小さい工場にある。だからかういふ反對論が起つてをる。成程大工場はそれで宜しいが、小さい工場は困る、實際二十人や三十人の職工を使つてゐる小さい工場は、大資本のため絶えず壓迫を受けてをる、それで思つた程儲かつてゐない。かういふ小さい工場に積立金を出せといふことは、角を矯めて牛を殺すやうなもので、かういふ工場は潰れてしまふ、さうすれば其處の職工は失業に陥り、却つて労働者が困るといふ議論であります。これは大變私は御尤もな議論と思ふのですが、さうするとこの議論の逆を言ふと、職工の犠牲においてこれらの工場が繁昌してをるといふことになるだらうと思ふ、若し國家がか

ういふ小工業を保護するならば、國家が保護すべきであつて、其處に勤めてをる職工の犠牲によつて保護されるべきかどうかといふことは、随分問題があらうと思ふのであります。だからかういふ小工場の労働者程かういふ風な法律案が必要なんであります。かういふ小工業若くは小商業といふものは國家から保護されるべきで、労働者の犠牲によつて保護されるといふことは、話の筋途が違ふやうに思ふ、かういふ風な議論が喧しくなつて、あれが削られ、これが削られ、結局一番初めの労働者の賃銀の百分の二、それから工場から出る百分の二といふことに修正されたけれども、それが三十人といふ程度がグツと繰上げられて、五十人以上の工場といふことになつて來たのであります。昨年だかの政府の原案によりますと、十人以上の工場若くは鑛山といふことで、さういふ小さい工場程、全般的に職工を保護する保護がない、ですからさういふ所こそさういふ法律が必要なんであります。さういふ所の職工が一番保護を受けてゐない、本當に必要とせらるべき十人そこの小さい工場に對して保證しなくてはならぬのでありますから、これは全く骨抜きになつたといふことが出来るだらうと思ふの

であります。

かういつたわけでなか／＼今の内閣が強力でないといふことが分る、これしきの社會立法を押し通すことの出来ない程の弱体であるといふことであります。でありますから、來年度の議會においてこの内閣がどういふ社會立法を持出すか知りませんが、もう大抵その望みも想像がつくじやないかと思ふのであります。

骨抜きにされて通過した諸法案

それから同じやうにお百姓を救ふために蠶絲處理法案と三つの米を處理する統制案がありますが、これも見ますといふと骨抜きにされてしまつた、これも昨年の議會に出たのであります。昨年は御承知の通り大きな繭製業の工場或は生絲製造の工場が擧つてこれに反對して、とう／＼採潰された案であります。今年は少しの反對もなしに樂にでもありませんが、まあ比較的樂に通つた、何故あれが通つたかといふと、昨年製絲業者が反對した點を皆取つてしまつて、大きな製絲業の主張その儘なんであるから通つてをる、通つてをるが、それだけお百姓の助けにならんの

あります。例へて見るといふと大きな製絲業者がお百姓から繭を先きに買つて置く、安いうちに先きに買つて置くことは、昨年の案では許されなかつたが、今年は構はぬといふことであります。

それから米穀自治管理案、これは皆さんも米屋さんが反對してをるので御承知かも知れませんが、これも同じく昨年は握潰された、ところが今年はその儘無事に通過することを得たのであります。昨年は米屋さんが擧つて非常な反對をやつたのであつたが今年には米屋さんに取つて不幸なことは、戒嚴令中で團体的な反對運動をすることが出来なかつた、去年は全國から上京して大反對運動によつて阻止したが、今年には戒嚴令中であつたからさういふ風な會合が許されなかつた、だから有力な反對運動をすることが出来なかつたといふことが一つと、今一つは例によつていろ／＼な點において條項が緩和されてをるといふ二つの理由で米の管理案が通つたのであります。であるからお百姓のためには大變なるやうであるが、實は中途半端で、これでは駄目だとお百姓のために働く議員も迷つてをるし、米屋さんの味方である商工業の議員も反對しなかつたために中途半

端になつてしまつた、要するにこの内閣は何處へ行つても中途半端になるといふことは、舉國一致に頼り過ぎるからであります。かういふ風にあつちへ行つては氣兼ねし、こつちへ行つては氣兼ねするやうな舉國一致は止めてしまつて敵は敵、味方は味方と判つきりして、同じ考へを持つものによつて強い政治をやる、反對するものは押通してもやつて見るといふのでなければ、實際強い政治は行はれるものではないのであります。であるから假に廣田内閣が潰れて、次の内閣が舉國一致でも、矢張り同じやうに中途半端を繰返すんぢやないかと思ふ。さうなれば何のための舉國一致、何のための非常時かが疑はれて來るのであります。

紛糾する日ソ關係

それからこの非常時の意味でありますが、私共は絶えず非常時といふ言葉を使つてをる、到る所に非常時といふ言葉が用ひられてをりますが、それならば非常時といふ意味は何であるか、かう聞かれますといふと、随分お答に迷はれる方が随分多いんぢやないか。實は皆んな非時だ、成程非常時だ、と言つて賛成してをりますが、甲の思つてをる

非常時と、乙の考へてをる非常時とは丸つきり違つた非常時ぢやないか。或人は非常時をもつて何かロシアあたりと戦争するんぢやないか戦争するんなら太變だといふことで非常時だと思つてをる人もある、或人はアメリカと戦争すると信じてをる人もある、ロシアと戦争をする、或はアメリカと戦争する、ロシアとアメリカと同時に戦争する、さういふことになれば、これは當に判然と非常時でありますですがさういふことが本當にあり得るか、さういふことはあり得ない、然らば吾々は何のためにロシアと戦はなければならぬ、ロシアと戦ふことを望んでゐるかといふと、どうも解らぬといふ人が相當多いんぢやないか、私は丁度日露戦争前は若き青年であつたのですが、あの時の情勢を能く記憶してをります。あの時の舉國一致といふものは、本當の舉國一致だつたと思ふ、吾々は臥薪嘗膽といふことをよく言ひますが、あの時は本當に臥薪嘗膽、これはどうしてもロシアと一戦交へて、傲慢なロシアの鼻柱を叩き折つてやらなければならぬといふことは、上下一致で考へてをつた、さうして本當に日露が開戦をした時は非常に熱狂したものであります。さういふ氣持を今日の國民が持つてを

るか、何のためにするといふ本當の氣持を持つてをるかといふと、吾々が日露戦争以前に持つてをつた舉國一致、とにかくあの敵をやつつけなければ置かないといふ心意氣が今日の國民には恐らくないやうに私は思はれるのであります。それは何故かといふと御無理もないわけで、目的が餘り判つきりしてゐないんぢやないか。吾々は滿洲國を援けてをる、それに境を隔てロシアが來てをる、それで最近の問題は何かといふと、其境を越へてロシアがやつて來たといふ、詰り垣根を踏み越へてロシアが來たといふだけに過ぎない、何もロシアが滿洲國を取るといふやうな問題ではない、若しロシアが滿洲國の侵略を企てるといふことならば、滿洲國は吾々が多年犠牲を拂つて來たところの生命線であるから、吾々の命である、だからこれには吾々も承知出來ない、しかし最近の問題はこの境を出たとか入つたとかいふ問題に過ぎない、而もその境たるや—これは日本の軍部の主張するところによれば、甚だ不明瞭であつて、どつちがどうだか分らぬ、かういふのが軍部の主張であつて不明瞭な境を入つたからといつて、實はこつちが入つて行つたのかも知れない、それであるから軍部の人達も外務省

の人達も、斯様な曖昧な境界線ではお互に困るから、兩方で委員を出して判つきりしようぢやないか、といふことになつて、ロシアも幸ひそれに承知してやるやうになつたのであります、未だ實は行はれてゐないのであります。それはロシアがこの國境を決める委員の設置に反對して、さういふ部分的な話をしてしまつたらんから、親善關係の下に、よき諒解の下に國境を決めやうぢやないかといふことがロシアの建前であつた、ところが日本の建前はこれに反して、個々のいろ／＼な引つ掛りの問題をなくしてからでなければ出來ない、直々、不侵略條約を結ぶといふことは本末顛倒だ、先づ國境問題を片付けて争ひの禍根を絶つた上で不侵略條約をやらうぢやないか、といふことで押問答してをるうちに、何年か経つてしまつたといふわけでありませう。最近の新聞なんかを見ますと、ロシアは怪しからん、國境を越へて新疆に蒙古兵が入つて來た。怪しからんといふことの前提には、國境が判つきりしなければならん、國境が判つきりしないと怪しからんといふことは言へない。

國境線の曖昧な滿露國境

要するにこれは國境が判つきりしてをるに越したことはないんですが、實際國境といふ觀念は吾々日本人は今まで持つてゐなかつた、御覽の通りの島國でぐるりは海に圍まれてをる、海が國境であるから、海を越へて向ふには入つて行けない、しかし朝鮮を併合するやうになつてからは、支那との境界線で、これは支那と境のあの鴨綠江で（笑聲）旨く境が出来てをつて、これはさう出たり入つたりするところではない、ところが滿洲國とソヴェトとの國境になると陸續きで全く分らない、それがために吾々が非常に神經質になつてをるといふことはあり得ると思ふのであります。ヨーロッパあたりの諸國は長い陸續きの國境線を持つてをりますから、吾々日本人が考へる程神經質ではないと思ふ要するに餘程神經質になつてをる氣味はあるでせう。それはとにかく、一番國境の不明瞭な所は何處かといふと、矢張り滿洲國の東の方で、これは清朝時代から棒杭か何かを何里置きかに立つてゐたものが、今ではどつかへ飛んでしまつて行方が分らんといふやうなわけで、何所から何所までが滿洲國の領土で、何所から何所までがロシアの領土か全く不明瞭なのであります。であるからこの境界で昨年か

ら今年に掛けて、恐らく百數十回の國境紛争事件が起つてをる、ロシアは、日本の兵隊が這入つて來た、とかう言つてをる、北の方は松花江、黒龍江が境をしてをつて、比較的國境問題は少い、ところが支那の河といふものは御承知の通り、日本の河のやうに堤防なんて判つきりしたものが無い、一遍洪水があると二里や三里移動する、こつちのものであつた所が河が向ふへ寄つて、ポツタリ向ふに取られてしまつてをる（笑聲）それだから向ふ側にあつたものがこつちに残つて、河が向へ寄ると滿洲國は大變儲かる（笑聲）といつたわけで、あの方面でも争ひは絶えない、殊に黒龍江の流れの中には三角洲が澤山あつて、それが島になつてをる、今までなかつたものがヒョククリ出來ると、これが滿洲國のものか、ロシアのものか、と言つてもそれは分らない（笑聲）丁度二人の間に出來た子供を、亭主のものか、妻君のものかと言つても分らない（笑聲）殊にハバロフスクにあるズンカローといふ島は、軍事上にも政治上にも大切な島で、ロシアも滿洲國も自分のものだと主張して係争問題になつてをる、かういふなか／＼大事な所もありません、それから新疆方面は蒙古國が獨立したものが新疆

省であります、此處に境した所は御承知の通り、ゴビの砂漠といふ大きな砂漠が國境になつてをる、それで三里置きか四里置きにポツクリ棒杭が立つてをる。三里や四里の出入りはどうも分らん、これは完全に立つてをる所でも三里や四里はあるのであるから、それを出たり這入つたりしたと言つてをつては切りがつかない、だから吾々が公平に見て、どうも怪しからんと言つて齒を喰ひしめる程のものぢやなからうと思ふ。これでは私共が本氣で日露戦争の時のやうな心持で戦争は出來ないんぢやないかと思ふのであります。

日本を恐れた滿洲事件當時のロシア

話が大部横に飛び過ぎましたが、お許しを願ひます。ロシアは滿洲事變の起つたあの當座は、日本を非常に恐れてをりまして、その後あの北滿鐵道すらも日本に賣却してそれで紛争の種を除かうとしてをつた、何故ならばあの當時のソヴェト政府は五ヶ年計畫の最中で、日本と紛争を醸して萬一戦争をするといふやうなことになつたならば、ロシアの計畫といふものは根柢から崩壊する虞れが十分に

あつたのであります。であるからさういふ喧しい鐵道を持つてをるより、この際金になれば日本に譲つた方が宜い、日本も亦その當時は足許を見て、あんなものは軍事的にも經濟的にも大して價値はないと押問答をして、まあ買ふことになつた。考へて見ると、滿洲國の領土内に他國の鐵道が、丁度心臓までといふよりはハルピンから這入つて來てをるといふことは、軍事的に見ても政治的に見ても、そんなに輕々しいものではない。日本でいふと丁度東海道の鐵道をアメリカで持つてをるやうなもので、指の先に棘がさゝつた位ではない、心臓にさゝつた位に思ふのでありますあの當時はそんなものに價値はないと言つたが、經濟的には随分引合つてをつたのでありますから、全然價値がないわけではない、さういふ重要性のある鐵道すらロシアは甘んじて賣るといふことは、日本との紛争を恐れた結果であります。ところが五ヶ年計畫が出來上つて見ると、あの當時吾々は屢々軍部當局、或は政府當局から聞かされたことは、ロシアは五ヶ年計畫を今日進めてをるが、人民を干乾にするやうなことをしてをる、實にロシア全國は慘憺たるものだ、といふことを絶へず聞かされた、ところが何ぞ

はからん、ロシアの五ヶ年計畫といふものは、實際内部的には缺點があるにせよ、先づ成功で、一つの功果を収めたといふことが出来る。現にそれあるがために吾々はロシアの軍事的な施設に對して一種の脅威を持たなければならんといふことが一種の證明であります。それで滿洲と國境を挟んで、シベリヤ側にロシアは二十萬から二十五萬の大兵を持つてをるといふことであります。丁度二十萬と言ひますと、日本全國の師團が二十一箇師團でありますから、一箇師團約一萬人としても二十一萬人、詰り全日本の師團と同じ位の兵を、ロシアは極東に集結してをる、これだけでも相當の脅威であると思ふ、それであの國境線に日本から何箇師團の兵が行つてをるか、それは知りませんが、とにかく少くも全部日本の師團が行つてをるわけではないから向ふの二十何萬に對しては比較にならんといいふことは言へるのであります。それから飛行機も極東方面に約千台持つてをる、日本の軍部總体の飛行機は何台か知りませんが、とにかく千の軍用飛行機があるといふことは、少くも脅威であり、タンク、といふものも千近くあるといふことであります。私はあの二・二六事件の時にタンクが東京市中を歩く

のを見て、斯んなに澤山あるかと驚いたのでありますが、千といふタンクが國境方面にあるといふことは、これも一つの大きな脅威である、装甲自動車も千近くある、それからロシアの國境にはトーチカと言つてベトンで固めた砲壘があります。これが何メートル置きに何千といふ數が出来上つてをる、若し滿洲國でこの國境線にトーチカといふ砲壘を同じやうに拵へるといへば、これが十數億といふやうな金を要する程の大きなものであります。私日露戦争の跡に行つて旅順や東鶏冠山方面を見たのでありますが、日本軍がトーチカのために酷い目に逢つた、ベトンで固められてをつて、山が平面であるからそんなものがあるといふことが分らない、それでどん／＼砲壘の中へ飛込んで行つては悲壯な最後をとげたのであります、何故かといふと、そんなものがあらうとは氣がつかない、それで終ひには坑道を掘つて爆發するといふことに氣がついたのであります。それから松樹山の麓でも酷い目に逢つた、行つて見ますと方々に散らばつてをつて、今だつたら大變なことだらうと思ふ、まあロシアの問題は打切りますが、これは極東方面の兵備であります。

日ソ開戦を否定した廣田外相

それからロシアの飛行機について一寸お話ししますが、ロシア人はやることは間抜けなやうな國民ですが、飛行機乗りだけは大變うまい、それで現在ロシアの軍用飛行機といふものは全部で四千台以上ある、それで昨年のロシアの飛行演習の時にやつた、ロシア獨特のバラシユートの飛下りバラシユート戦術があります。數百台の飛行機が群をなして敵軍の後方に出て来る、それで飛行機に乗つてをる兵が機關銃やその他の兵器を持つてバラシユートに乗つて飛下る、約一箇聯隊位の兵が飛下るといふ戦術であります。これが實戦になるとどれ位役に立つか分らない、事程左様に飛行機についてはロシアはやつてをるのであります。それからロシアは五ヶ年計畫で肥料の國營といふことをやつてをります。これは毒瓦斯の原料になるものであるといふことを聞いたのであります。それで最近絶えずロシアが極東に對してやつてをる演習は何であるかといふと、チタ、浦鹽間を往復することである、チタ、浦鹽間の距離といふものが、浦鹽、東京、大阪間の距離と同じであります、だか

らまさかといふ時には、ロシアの飛行機が襲ふて來るといふことはあり得ることと思ふ。最近軍部が随分無理をして、軍備また軍備で、軍を整備しなければならんといふことは、かういふやうなことが最近の原因なんであらうと思ふのであります。かうした戦争は日露戦争の時の戦争とは總ての様子が變つて來てをる。吾々の若い時の日露戦争はたつた一つの鐵道でシロヤの兵がどん／＼送られて來た。ところが日本は汽車若くは汽船でもつてどん／＼滿洲に繰出して行つて、一舉にしてロシアを全滅したといふことになるが、現在ロシアは二十何萬といふ大軍を集結してをるといふことが一つと、もう一つはロシアの飛行機が直ぐ日本と戦争を行ふことが出來るといふ状態にある、だがこれがあるがために日本が閉口垂れて負けるなどといふことは夢にも考へてゐない。併しながら日露戦争の時のやうなまゝい條件の下に日本が戦ひ得るとは思へない、だから軍部が責任を持つ以上軍を整備してこれに劣らないだけのものを持たなければならんといふことは其處にある。それならばロシアはこの有利なる條件を利用して、日本に戦ひを挑むかといふと、私は挑みはしないとと思ふ。これは唯ロシアの

強味を言っただけであります。ロシアの弱味は聲を立てず
に黙つてをるが、國內には不平の氣鬱勃たるものがある。
それで下手に戦争すれば折角緒につきかけた社會も國家も
憲法も、一時に引くり返つてしまふ虞れがある。だからさう
いふ無謀なことをしてまで日本に戦ひは挑まない。同じや
うに日本も唯國境を出たり這入つたりといふだけで戦争す
る理由はない。だから廣田首相も「私の在任中は戦争はご
さいません」と言つたやうに、議會においても廣田さんは
答辯してをる、何故ならば日本は戦争の必要を認めない、
ロシアもさういつたわけで戦争する必要はない、唯恐しい
のは、出たり這入つたりしてをる間に、互に向ひ合つてを
るのであるから、敵愾心があります。これは能くあること
で劍を突き合してをれば、一寸した小さいことから大きな
ことになる、蟻の一穴から大事になるといふことが恐しい
ので、大勢の上から見て、これが總理大臣の結論であつた
私も同感であります。

轉換期にある日本

さうして見ますと、この非常時の意味は別になければな

らない、それは何所にあるか、これは私はこの二・二六事
件については、餘り多く語るを好みませんが、かういふ事
件が起つて來た、若くばかういふ情勢を催した社會的零團
氣にあるんぢやないか、こゝに非常時の意味があるんぢや
ない、かう思ふのであります。例へて見ますと丁度この日
本の社會、若くば世界の社會と言つて宜いかも知れませ
この社會が轉換期にある、何とかしなければならんといふ
轉換期にある、その轉換期は何かといふと、とにかく子供
が大人になつたと同じやうに、世の中といふものが成長し
て來て、成長して來たその事によつて、今まで違つた制度
なり、違つた組織を持たなければならん、かう御理解なさ
つても大して間違ぢやない、丁度日本といふ國家、或は日
本といふ社會が今までは子供であつたが、大人になつて、
体が大きくなつたのであります。だからそれに合ふやうに
新しい制度なり、新しい組織を持たなければならん、洋
服が小さくなつて困るといふわけでありませす。であります
から米の管理案、蠶絲案、或は商工金庫案、いろ／＼な救
濟案が出來上つて來なければならん、帽子も小さくなつ
てをるから取換へなければならん、靴も取換へなければな

らん、上衣も取換へなければならんといふのであります。が
さういふ個々の取換へ方ではもう身に副はなくなつてをる
んぢやないか。子供が大人になつたのであるから、子供の
ものを大きくしたただけでは困る、どうしても大人のものを
持たなければならん、其點を考へないのである。例へて見
ると米の管理案であります。これによつてお百姓が幾らか
樂になるかも知れない。しかしこれによつて脅威を感じる
のは、現に米屋さんがある。何故米屋さんが脅威を感じる
かといふと、この法律案によりますと、過剰米の管理に限
る、假りに日本人が一年に五千萬石の米を喰ふとして、五
千五百萬石出來た時は、その餘つた五百萬石に對して自治
管理をさせるといふことでもあります。この自治管理といふ
ことは過剰米を組合が貰つてをづて、米が適當な價格にな
つて來たら賣り拂ふ。詰り組合が販賣機關を持つといふこ
とが、米屋さんが大變お困りになるのであると思はれる、
過剰米を賣つた買つたといふ、さういふ機關或は組合が持
つと、生産者から直接消費者に向つて來る、さうすると米
屋さんの商賣が上つたりである、詰り米屋さんの犠牲によ
らなければお百姓の救濟が出來ないといふことがいけない

んぢやないかと思ふのであります。帽子が小さくなつたか
ら帽子を大きくしてやる、靴が小さければ大きいのを履け
といふやうにいろ／＼救濟策が並べられ、法律案や救濟案
が出来る。だがどの案が出て必ず反對が出るといふの
は、何かを犠牲にして救けるといふのがこの救濟案であり
ます。これでは不足であらう、大局から見て世の中の移り
變りに順應した或る組織なり、ある制度なりの下に、皆が
救はれるといふことが望まれるのであります。或る亂暴な
人は、米屋は數が少い、お百姓は數が多い、少い何十萬の
米屋を犠牲にしても、何百萬の百姓を救ふのが當然である
新しい時代が來て、新しい制度になつて來たんだから、そ
れは仕方がないぢやないか、といふ亂暴な御議論をなさる
方がありますが、かういつたことが資本主義の今までの罪
惡であつた、今までの資本主義がさういふことに對して維
持し直すゆりのあつたといふ時代だつたから、まあ大目
に見られて許されたが、とにかく外のものの犠牲によ
つて資本家が儲けて來たといふことが、今までの長年の資
本主義の罪惡であつた。だから電車を敷いて車屋を犠牲に
したといふことは、資本主義の悪い點であつた、昔は車屋

さんが車が引けなくなつても、外の仕事に就くことが出来た、だが今日の世の中といふものは行詰つてしまつて、職がなくなつて來てを、直ぐに外の仕事に就くといつてもなか／＼取りつけない、かういふ時代であります。米屋は數が少い、小の虫を殺して大の虫を救けるといふやうなやり方はどうも少し根本がいけないじやないか、現在までさういふ建前でやつて來たのが資本主義の悪い點でありますこゝで資本主義が修正されるといふことは、さういふ點を私は言ひたい、世の中の進み方に順應して、新しい組織なり、新しい制度によつて、お互に榮へるといふ點を除いては、社會救済の意義はないんぢやないか、それで世の中が非常時だといふことの意味は、世の中が轉換期になつて來た、何とかさういふ風な新しい制度なり、組織がなければ立ち行かなくなるといふ状態になつて來た、かういふ時代が非常時——、何も大變なことになつたといふ意味ぢやない。吾々が外の國から攻められたといふならまた別であるが、嘗て今日の如き非常時といふ意識を持つたことはなかつた、また學國一致といふ人もなかつた。學國一致といふものは反對黨を胡魔化することなく、いざといふ時には獨

りで出来るものである。ところが今では學國一致々々と叫んでをるが、偽の學國一致をやつてをるんぢやないか、弱体内閣を學國一致で偽装してをる、偽裝の學國一致ぢやないかと思ふ。それならば外國から攻められたらどうか、さういふ場合は安心して一致出来る國民である。何故一致出来ないかといふことは、戦争とか何とかいふことでなしに、一種の病ひが大いにある、病ひと言つて悪ければ、少し進み過ぎる過程にあるといふことではないかと思ふのであります。

平生文相の漢字廢止論

それからまた話が横つちよに飛びますが、この議會の質問應答において、餘り新聞なんかで注目されずに、ホンの一行か二行で片附けられたけれども、しかし社會的意義が非常に大きかつた問題があります。それを一つ忘れないうちに御紹介して置きたい。それは貴族院で文部大臣に對する質問で文部大臣が漢字廢止論を唱へた、これに對して實に怪しからんといふことの質問なんであります。私はこの漢字廢止論が怪しかるか、怪しからんか、これは私は能く

知りません、しかし、この漢字を廢止したいといふ心持には、反面同情を持つ者で、これは怪しからんなどと一こくなことを言はずに、お互に研究する値打は十分あるんぢやないか、さういふことを多年の歴史から頭ごなしに國粹がどうかいふ風な建前で押潰してしまふことが怪しからんといふことで、日本が永久に發展して行く所ぢやないと思ふのであります。何故私が斯んなことを言ひ出したかといふと、實は私の商賣の上から長年泌々漢字といふことについて不自由を感じて來てをる、御承知の通り日本では漢字と假名と交ぜこぜにして使つてをりますが、これが三重にも三重にも手数が掛るのであります。支那の新聞は漢字だけ並べて置けば宜いのであります。日本の新聞は漢字を拾つて、それから假名を拾ふ、それだけ文化的に損をしてをるわけであります。これをアルファベットを使つてをる外國の新聞に較べると、大變な損をしてをる。私はアメリカ、ヨーロッパの新聞社を二三參觀しましたが、實に羨しく思つた。これがアメリカあたりの新聞社に行つて見ますと、假りに大阪からタイプライターを叩くと、それが東京の新聞社の文字盤の上に漢字がピョン／＼と飛んで出る

かういふ仕掛けであります。ところが日本の新聞はこれを電話で原稿を送る、それを速記者が速記して、それを翻譯して、見出しを付けて工場に廻す、工場では一々今言つたやうに、漢字を拾ひ、假名を拾ふ、その上に漢字の横つちよに振假名をつける(笑聲)かういふ小面倒なことをする新聞は、世界廣しと雖も日本だけであります。かういふ立場から言へば、漢字廢止論も大いに研究の價値があるんぢやないか、通信社にしてもさうであります。向ふではタイプライターを叩くと文字がチャンと飛び出して來る、それを通信社から叩くとそれが直ぐ通信文になつてをる、それをどん／＼工場へ廻すだけで宜いのである。ところが日本の通信社はどうかといふと、先づ小僧が自轉車に乗つて一々配達しなければならんといふやうな、その手數と混雜とやゝこしさいふものは、もう大變なことなんであります。これがどんなに日本の文明を妨げてをるか分らない。最近でも能く聞くことは、うちの子供は大學まで出たけれども、手紙一本満足に書けない、私なども長年文字を書いてをりますが、手紙一本満足に書けるかといふと、私は全く自信がない、書かなければ首を敲ると言へば、それは書

くには書きます（笑聲）さういふこと程日本といふ國は文字、漢字が面倒である、恐らく一字の読み方でも、読みやうによつては十も二十も読み方がある。これを一々子供に教へ込まなければならん、ところがアルファベット見たやうに假名だけであれば、どんなに子供が助かるか、最近學制改革とかが喧しい問題になつてをりますが、この漢字といふものがなかつたならば、私はもつと簡単にそれがやれるんぢやないかと思ふ。

民衆と接觸せぬ文部省

私の方では盲の人のために點字新聞を出してをりますが點字新聞は紙の上にポツ／＼が出てをりまして、盲の人がそれを指先で撫でて讀むんでありますが、これをやつて行きますと、盲の子供は丁度尋常六年の課程を二年でやつてしまふ。ところが吾々は不幸にして眼開きであるがために盲より非常な損をしてをるわけでありませぬ。（笑聲）何故かといふと言は點字といふ便利なものを用ひて、漢字のやうな小面倒なものを讀まないでも済む。だから平生さんが漢字廢止といふと、今直ぐ廢止しなくとも、また平生さん

の立場においてのみでなく、實際吾々日本の國民の能率の上から言つても餘程お考へになるべきで、尊敬してお互に研究すべき問題ではないかと思ふのであります。さういつたやうなわけで教育團體も教育者ばかりに委して置いては追つつかない、社會的に常に皆さん方が今言つた漢字廢止のやうな問題に注目されて、將來吾々の子孫のために、骨を折らないで宜いといふ方法を考へることが、本當に良いことではないかと思ふのであります。それを頭ごなしに平生さんに喰つて掛つてとう／＼平生さんに謝らしたといふことは、實に私は情けないことだと思ふのであります。漢字を廢止しなくても、漢字の書き方を一定することだけでも餘程便利になると思ふ。私共が町を歩いて看板を見ると、右から書いたり左から書いたりして區々である、右から讀んで變だなどと思つて、左から讀むとやつと分つたといふやうなことがあります（笑聲）東京市役所若くは實業團體が相談して、東京だけでも看板を右か左かと決めただけでもどんなに便利になるか分らない、それがために世の中の受ける利益といふものも容易なものではないと思ふのであります。

それからローマ字の綴りなんかでも、十數年來文部省で調査會を開いてをる、所謂標準式と日本式の二つの式が争つて未だに決らない、どういふ風に決まらんかといふと、例へば明治座と書くだけである、それをGにするかJにするかといふ、ホンの三ヶ所か四ヶ所で十數年來喧嘩して未だに決らない（笑聲）理窟を言つては切りがないから皆が便利だといふ方に一定するといふことにして、もう大抵のところを話を折れて呉れると、どんなに便利を受けるか分らない。同じローマ字でも海軍省は日本式を使つて、鐵道省は標準式を使つてをる。このローマ字綴一つすらも決定することが出来ないといふことは、國民諸君が無頓着過ぎるからではないか。かういふことは輿論を起せば政府も放つて置けない。元來文部省——惡口を言つては相濟んのです、文部省程民衆に接觸しないお役所はないのである、これが文部省の缺陷か知りませんが、とにかく世の中のことに対しては、文部省は實に無關心といふ程時代遅れであるであるから輿論を起せば文部省もどうかしなければならん。かういふ時に輿論を起して文部省をつ／＼といふことが必要ではないか。かう思うのであります。

淫祠邪教の跋扈

それから今一つは平生さんで思ひ出しましたが、同じ貴族院で、近頃迷信といふものが非常に起きて來た、これに對して政府はどう思つてをるか、といふ質問があつた。これは迷信なんていふことを、當面の政治問題にするかすれば、少し暇たらしい問題である、だから書いても一行か二行で片付けてしまふ。私共には餘り受けない問題である、新聞社の方でも——文部省の惡口を言つた罪滅しに新聞社の惡口も言ひますが（笑聲）先程の漢字の廢止のやうな大きな社會的に意義の深い問題でも、政治家が餘り取上げないと問題にしないといふ悪い癖があります。一体迷信なんていふことは現實の問題としても、大きな問題であると思ふ現に大本教のやうな大きな宗教が取壊された、斯んなことは世界でも餘りないことと思ふ。一つの宗旨が政治的に取潰を食ふといふことは、何處の國へ行つても何の時代でも餘りないことだらうと思ふのであります。さういつたやうな大問題が起きて、殊に社會の現實として、非常に悪い信心が近頃大變流行つてをるといふことは、皆さんもお氣附

きのことであると思ふのであります。それでかういふ大問題こそ吾々が取上げて、大いに迷信を打破しなければならぬ。それで迷信のよつて起るところは何所にあるかといふと、矢張り思想不安、社會不安といふことが源になつてをるのでありますから、この思想不安若くは社會不安に對して、吾々がメスを加へるといふことは、吾々がこれを解決する一つの力になるのであります。政治家には餘り金銭上の關係がないために黙殺されたといふ理由で、新聞がこれを黙殺したといふことは大變私遺憾に存じてをるのであります。それではどういふことが迷信かと言ひますと、これはなか／＼大問題で、私は皆さんに判つきりしたことを申上げることは出来ませんが、かういふものは迷信臭といふメドをお話することが出来る。その一つは迷信—淫祠邪教の一つは必らず現世利益といふことを説くのであります。現世利益といふとこの世の利益を説く、しかし現世利益を説くものが全部迷信だと申上げるのでないから、誤解のないやうに願ひたいのであります。しかし現世利益を説くものは眉唾物として戒心することは必要で、斯様な宗旨は必らず現世利益を説く。この宗旨を信すれば病氣が治る、終ひ

には金が残りますといふことを必らず説く、良い宗教でも説くかも知れないが、悪い宗教は例外なしに説く、斯んなのに引つ掛るのは大抵怨の深い人が引つ掛る（笑聲）それから今一つは、かういふ宗旨に限つて學問を否定する。これは一寸旨い理窟である、インチキ宗教に限つてかういふことを言ふ、この世の中は神様が御拵へになつたものだ、であるから病氣になつたとか、禍の來るのは神の罰だ、若くは神の思召に副はないためにさういふ風になる、だからお前が病氣を治さうと思つても治るものではない、神様に願ひして神様に治して貰はなければならぬ、これは尤もらしい、それから近頃の學問はしようがないといふ、言ひ換へると科學である、神様を信心してもそれが科學萬能主義でいけない、科學なんぞといふホンの僅かなものでは宇宙の謎は説くにあたらん、悉く怪んで見れば宇宙は謎であるから科學なんぞは當にならんと言ふ、これは全くその通りである。科學萬能で科學ばかりを信じていけない、だが、科學といふものが人間にどういふ力を與へたかといふことを考へねばならぬ。人間といふものと科學がどういふ關係にあるか、吾々人間が今日まで來てをるのは數

百萬年掛つてをる、吾々が今日の文化を持ち得たといふことは、殆ど科學の力である、エチプトあたりでは一萬年位掛つてをるやうな文明を、何百年といふホンの短期間でこれだけの大きな文明をなし遂げたのは科學の力である、僅かな科學の力が今日あるが如き大きな文化を齎らすことが出来た、であるからこの科學といふものは吾々人間の持つ唯一のものではない、心の寶ではある、少くとも最近の寶物の一つなんです。これあるが故に吾々は今日の文化を得今日あるが如き吾々があり得たといふことで、唯科學では總ての謎を解くことが出来ないといふことの理由で、吾々の先祖が隆々築き上げた科學を否認するといふことは、例へば人類を元の動物に戻すといふ議論である。従つて良い宗教は決して科學を排撃しません、科學と兩立し得る宗旨であります。科學と兩立しない宗旨は、皆さうだとは言ひませんが、インチキ宗教と思召しても大抵はすれないと思ふのであります。要するに今日あるが如き迷信的思想が横行してをる時に、かういふ風な質問が貴族院においてなされたといふことは、確かに世弊を衝いた大きな質問の一つと思ふのであります。これがホンの何等の聲なき如きに葬

り去られたといふことは、私非常に遺憾に存じてをる次第であります。

馬場藏相の言明

それで議會は皆中途半端に終つた。かういふ風に特別議會を總覽しますと、この次の議會に何をなすかといふことについて、大藏大臣なんかの答辯を綜合して見ますと、略々メドがついて來た。これを項目を擧げて申しますと、今の政府はこの次の議會には増税をきつとやる、増税を含む税制整理をやるといふことを大藏大臣が言つてをる。それでこの整理といふものは中央地方を通じた整理でなくちやならん、而も中央と地方との負擔の不均衡を是正する整理である、それから増税でも大衆の生活を脅すやうな課税はやらん、それからこの増税といふものは所得税を中心として主として行ふ、從來は所得税といふものは不動産及び個人所得といふものに重く課税してをつたが、將來は動産や法人所得に對して重い税を掛ける、賣藥税とか、木綿税とか、木綿織物税、醬油税といふやうな日露戰爭當時に起してをつて、今は廢税になつてをるかういふものを再び起

すかどうかといふ質問に對して、今のところはさういふものを起す意思はないといふことになつてをります、それと酒税、酒税は現在一石について四十圓ですが、可成りの重い税金を掛けてをる、所謂所得税が二億何千萬圓ですがそれに略々同じ位の税額で、所得に次ぐ大きな税額になつてをる、これは従來は従量税によつて一石について幾らといふわけでしたが、これだと良い酒を作つて高く賣る人にも、悪い酒を作つた人にも同じ税金で不公平だといふので將來は従價税にする、詰り一石五十圓に賣れる酒と、百圓に賣れる酒とは税率か違ふといふのであるが、さういふものについても考慮するといふ。だが、どつちみち酒税は高いものになるに違ひないのであります。それから相続税についても考慮する、或は政府に相続税を拂はなかつたならば、政府がそれを買上げてやるといふやうなことにいつて考慮するといふことなんです、これは社會政策的にいへばもつと高くても宜いんぢやないか、さうすると金持の人や物を澤山持つてをる人からは反對されるかも知りませんが、どうも唯親が金持であつたといふことだけの理由でその子孫が何時までも金持であるといふことは社會正義の

上からいつても許されることぢやない、矢張り銘々の人は銘々の働きによつてやるのが本當ではないか、同じ理窟で華族といふやうなものを俄かに廢することは、或は弊害があるかも知れませんが、とにかく社會正義といふ觀念の上からいつて、あゝいふ風な特權階級が昭和十一年の今日、のさばつてをるといふことは餘り宜しくない。

提唱された貴族院改革案

話が横道に入りましたが、貴族院の改革案といふものも近頃近衛公府あたりから唱へられて、世間には非常に評判が良いやうであります、私は餘り良い感じを持つて眺めてゐない、何故ならば改革の名によつて自分達の特權を少し延ばさうといふのである。根本からいつてあゝいふ風な特權を持つたものが今日許されるといふことは、どうしても今日の時勢では駄目である、であるから一時に廢止されず、三代目にはなくなる、或は五代目にはなくなる、といふやうな建前でやるのは本當ではないかと思ふ、特權を持續するために幾らか緩和するといふことでは何にもならん、例へば近衛さんの案によりますと、公候爵は従來三十

五才になると無條件で貴族院議員になれた、詰り公候爵の家に生れた人はどんな馬鹿でも白痴でも貴族院議員として終身國政を議する權能を與へられる、斯んな不合理なことはない、政治を議するに適當な人に政治を議して貰はなければならぬ、馬鹿でも白痴でも公候爵であるといふことの理由だけで、吾々の政治が討議されるといふことは我慢が出来ない、だからかういふことは止めて、定員といふものがなしに今までは皆が議員になれたが、さうでなしにその中の一部分を仲間同志で選舉して議員になることにしよう。さうすると馬鹿や白痴はならず済む(笑聲)だが皆が馬鹿であつたらどうするか(笑聲)其處のところはどうなるか分りませんが、要するにさういふ風な議論の問題は感情の改革にも宜しい、同じやうに伯爵、男爵も減らす、それから勅選議員は古ぼけたよぼ／＼の爺さんに辭めて貰ふために停年制を設ける、かういふことであります。新聞を見ると、貴族院ではあゝいふ決議をしたけれども、仲間で反對の氣勢が強くなつた、何故ならば實際は華族議員で出來た公正會とか、研究會とかいふ選舉母体といふものがある。その母体で選舉のボスが實權を握つてをる、

議員の數を頭割に振分ける。ところが近頃の華族さんは大名華族にはなか／＼金持が多いが、京都あたりには随分貧乏な華族さんもある。大阪あたりには有田ドラックの藥屋の番頭さんをしてをるといふ華族さんもある(笑聲)實に貧乏な華族さんがある。さういふ人が貴族院議員になつて、三千圓の歳費を貰ふといふことは大變助けになる(笑聲)詰り暮しのために貴族院議員になる、これでは固る、私共のとにかく幸福のために政治をやつて貰ふ機關が、どうも貧乏な華族を救済するための機關であつては困る。だからこれが減るとボスが巾を利かしてをるから、どうしても數が少くなると割當てに困るといふわけでなか／＼反對する

問題になる多額納税議員

また勅選議員は停年制を設けては困ると言ふ。勅選議員の中には随分よぼ／＼の爺さんがゐます。これがまた一日出て來ただけで三千圓になります。だからこの味が忘れられない(笑聲)停年制なんかは設けて貰はん方が宜い停年制を拵へるといふことは大變理窟の立つた話であります、さうするとかういふ議論が起きて來る。これが七十才にな

るか、六十才になるか、假りに六十五才として見ると、勅選議員の大部分は停年制に引つ掛る。さうするとかういふことを政府へ質問するだらう。吾々はよぼ／＼してをるがあなた方はお幾つかと言ふ。大臣あたりは大抵六十から六十五位の人が多い、さうすると大臣にも停年制を設けたらどうかと言ふ。議員でさへも停年制を設けるとすれば、一國の政治を司る大臣は更に必要といふことになつて来るだから大臣が六十五位でやつてをるとすると、停年制を設けるとすればどうしても八十位に繰上げるより仕方がない(笑聲)それから大臣ばかりではない、樞密院といふやつがあります。これは平均して七十か八十にせなければならんさうすると樞密院議員は皆辞めてしまはなければならん。衆議員でも六十、七十の人が幾らも立候補して、お爺さんの候補者もをる。だから此方にさういふ法律を拵へて呉れといふわけで、なか／＼勅選議員の停年制を設けるといふことは、理窟には合つてをるがいざ實行といふことになるとなか／＼出來ない。それから多額納税議員、これがまた問題になる多額納税議員といふ人は税金を澤山納めてをるから、衆議院議員にもなれるし、貴族院議員にもなれる、

兩刀使ひでなれる、金持は有難い。しかし金持を優待する機關ならば宜い。さうではなしに近頃の政治は金持は優待して宜いが、困る者を困らないやうにするのが本當の政治である。そのために政治をやるならば、寧ろ貧乏で困つて居る人の代表者を澤山入れて、政府にその聲を通ずるのが當り前である。貴族院でも衆議院でも議員の大部分はやはり金持である。金持の代表者が澤山入つてをりますよりは、辭めて貰つても吾々には一向差支ない。私共には構はないが金持には差支がある。さういふ人が金持の多額議員であれば多分かういふと思ふ。辭めて呉れといふのはそれは仕方がないが、華族さんにも辭めて貰ひたい、同じ特權で金持の特權も華族さんの特權でも同じではないか。何故かと考へて見ると、今考へるとをかしな話であります。大抵子爵とか伯爵とかいふ人は昔のお大名である、その人達が大變國家に貢献されたといふのであるが、その國家に貢献されたといふのは、寧ろ徳川幕府や豊臣に忠義を盡してをつたのである(笑聲)さういふ人達の子孫が何時までも特權を持つてをるといふことは實際に副はない。東郷さんといふ名譽ある家柄も、これから三百年、五百年経つて、

何時までも候爵でをられなくても、あゝいふ家柄といふものを保存したり、何か残して置くといふ方法は別にある。政治的に干與させなくとも、政治とさういふ手柄を立てた家柄と云ふものは別個の問題で、誰でも認めてをると思ふ殊に東郷さんに對してはさうだと思ふ。東郷さんの十代十五代後のものが、東郷さんの威信を傷つけるやうなことがないとも限らない。殊にあゝいふ人の功名手柄といふものが子孫にまで政治的特權を負はせるといふことはどうも理窟に合はない。フランスあたりには伯爵、侯爵が澤山あるが、それは政治的に關係はない、だから伯爵侯爵といふ一種の特權があれば、無條件で貴族院議員になれた、これを改革しよう、かういふのであります。しかしこの改革問題のやうなことも、考へて見れば他愛のない話でありますかういつた意味で相続税なんかも研究すれば必ず非難されるだらうと思ふのであります。

不公平なる消費税

その外財産税といふことについても研究する。それから關稅を幾らか改正する勇氣があるらしい。煙草、ビール、

砂糖、さういふものについても検討する、かう言ふ。検討すると言ふからには、上げるとも上げないとも言はんが、上げると判つきり言つたものから見れば大いに上げる可能性がある。最近新聞を御覽になると、もう直ぐ豫算編成期で歳入歳入のことを言つてをりますが、陸海軍軍部の豫算といふものは十五億を下るまい。先程申したのは十億、ところが來年度になると一躍して五億圓以上増すだらうといふことを言はれてをる。今言つた通りこの五億圓の増加に對して、増税を持つて行つて引上げるのであります。これは全く不可能なことであると思ふ。何故ならば現在の租税收入といふものは八九億圓だらうと思ふ。この全体の租税收入八九億のうちから五億圓を増すといふことは、約倍近くになる大増税でありますから、さういふ増税は行はれないだらうと思ふんです。だから結局赤字公債といふものが殖えて來ると同時に、矢張り消費税、今の釀造、ビール、砂糖、さういふものの増税が多くなるんぢやないか、かう思ふのです。

さうなると何故この消費税が悪いかといへば、私が皆さんに申上げるまでもなく、これが餘程公平らしい顔付きを

してをつて不公平であります。煙草一箱吸へば一錢ですか
まあ取られる、私が吸つても取られる、皆さんが吸つても
一錢取られる。二箱吸ふ人は二錢取られる、かういふ點か
らいへば税金は澤山収入のある、擔稅力のある人から澤山
取るといふことが原則になつてをる、ところが消費稅の收
入はどうかといふと、物を使った人から取る、貧乏でも煙
草好きであれば取られる、ところが三井八郎右衛門氏がパ
ツト一箱吸つても一錢で済む、これを所得で決めるとすれ
ば、三井八郎右衛門氏は百圓か二百圓になる、さうなれば
賛成である(笑聲)三井八郎右衛門氏が一日パツト千箱吸つ
ても大したことはない、吾々は現在以上に煙草が必要であ
る。而もそれが高くはされやうと下げることが出来ないとい
ふのである。パツト一箱一錢づゝにしても一日一箱とし
ても、一年三圓六十五錢といふ税金を負擔することになる
一日二箱にすれば七圓幾らの課稅であります。煙草は知ら
ないうちに煙りにしてゐるが、うつかり煙草を吸つてもや
られる、ビールを飲んでもやられる、着物を着てもやられ
る、貧乏人も金持も一切合切何でもかでもやられる。さう
なると三井八郎右衛門氏はうまくやつて、吾々が馬鹿を見

るといふことになる(笑聲)

所得稅を中心とする増稅計畫

それで大藏大臣の言つた通り、所得稅を中心にするとい
ふことが、一番公平なやり方であが、所得稅がどれ程増す
かといふことを考へて見ますと、先づ日本で一萬圓以上の
所得のある人が幾らあるかといふと、一寸忘れましたが、
二萬人とはない、一萬何千人、だからかういふたつた一
萬人やそこらの人達から税金を取り得る額といふものは入
つたところが、高が知れてをる。現在の税金より倍に徴收
しても何千萬圓に過ぎない。だからどうしても大勢から取
るといふことになる、さうなると今までは一萬圓から取つ
てをつた、今度は下の方から取る、一千圓から取るとしま
すと、七十圓そこ／＼の給料をとつてをる人が二圓そこ
／＼の税金を取られる。かういふ人から二圓の税金を取る
とすると、なか／＼暮しも樂でないだらうと思ふ(笑聲)
法被を着てをる人や吾々洋服細民といふものは、なか／＼
ゆとりのある者は少い、七十圓位の収入から實際税金を取
るといふものは、實際な矛盾してをることだらうと思ふ。

假りに七十圓の月給を取つてをる人から税金を取るとする
と、さういふ人達が長年粒々辛苦して、稍々生活が樂にな
つた時分に税金を取られる。さうなると其處へ當然行くわ
けであります。それと煙草にも取られる、ビールにも取ら
れる、着物にも取られる、何でもかでも取られるといふや
うなわけで、これは今言つた通り非常時だからお互に我慢
しなければならんといふが、私共お互に一つ考へて見なけ
ればならん點があると思ふ。今言つた通り國境方面でもロ
シヤと難かしい形勢にある、どの點に一つ基準を置いたな
らば、吾々の生活の安定と軍部の要求がうまく折れ合ふか
軍部の要求だから一にも二にも絶對軍部の命令で、吾々は
飯も食はずに行かなければならん場合もありますが、さう
でない場合もある。其處は銘々皆さんのお考へ次第のもの
だらうと思ふ。それでなければ議會政治だとか民衆政治の
意味はないと思ふ。必要なものは取上げるんだから勝手だ
といふのは本當ではない。そのためには議會において吾々
の輿論を反映させる必要がある、從來は少くとも吾々が遠
慮深か過ぎた點もある。議論なども吾々が一線に出て議論
はするが、どうも後から續く人がない、後援續かずで敵軍

に飛込んで葬むられてしまふことが往々ある。だから吾々
の背後に後援者が食附いて来て 救ひ出すといふ支持者が
あれば、それが意味があるなれば、随分有志が現れて来て
闘ふ人もあるだらうと思ふ。とにかく闘ふといふことの意
味は銘々の問題で、國のために戦ふ、銘々國民のために戦
ふ、何のためかんのためといふ一局部のためではない。要
するに議論を大いに起さなければならん。これがためには
言論の自由といふことが茲に叫ばなければならん。本當
は一番終ひにこの事を大いに力説する積りで取つて置いた
のであります。時間がありませんから、また適當な機會
がありましたならば、言論の自由についてお話ししようと思
ひます(拍手)

京都取引所一般取引員

丸耕山愛太郎商店

京都市四條通高倉西入

代表番號電話本局六八八六番

市場之耕山
株式内報贈呈
金泉錄

昭和十一年七月七日印刷納本
昭和十一年七月十日發行

【非賣品】

編輯發行兼印刷人
京都市河原町御池
京都ホテル北館内
田所久一

印刷所
東京市芝區金杉川口町二七番地
日本講演協會印刷部
印刷所
京都市下京區寺町通松原南入植松町
吉志部印刷所
電話下三六二九番

發行所
東京市芝區金杉川口町二七番地
關東日本講演協會
電話(三田)三六〇九番
關西日本講演協會
京都市河原町御池上ル京都ホテル北館内
電話上五三〇〇番

32
68